

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2019年6月11日

学籍番号	19PDA10	所属	体育科学研究科
氏名	松田 知華		
学会等名 (正式名称)	American College of Sports Medicine		
開催日程	2019年5月28日 ~ 2019年6月1日		
開催場所 (国・都市名)	Orland, Florida USA		
発表演題名	Effects Of Menstrual Cycle On Energy Utilization And Endurance Performance In Eumenorrhic Women		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 本学会は5日間にわたり様々な会場で数多くのセッションが行われていた。毎年5千名以上が参加する学会ということもあり、世界中から集まった研究者が各会場で活発な議論を交わしていた。ポスター会場はとても広く、1日に何百もの発表が行われていたが、積極的に質問しやすい雰囲気でもあった。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> 私の発表内容は、月経周期がエネルギー基質利用および持久性パフォーマンスに与える影響であった。自身の研究に密接に関連した研究は多くはありませんでしたが、月経周期が身体の変化に与える影響について中心に勉強させていただいた。卵胞期前期と卵胞期後期に高糖を摂取し、動脈スティフネスを測定した研究では、月経周期によって有意な差は見られなかったが、下肢において卵胞期後期で有意差が出ている項目も見られたことは興味深かった。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 本研究は、対象者として正常な月経周期を有する女性と記載していたが、$VO_2\text{peak}$ が低いことから対象者の運動頻度およびアスリートか否かを質問していただいた。また、今回の運動は、$60\%VO_2\text{peak}$ の強度で45分間、続けて $80\%VO_2\text{peak}$ の強度で疲労困憊まで実施したが、なぜこの運動プロトコルを選んだのかと質問を受けた。さらに、性ホルモン濃度および月経周期の期分けについてや、周期によって差が出なかったことに対しての考察等を討論することができ、有意義な意見を得ることができた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。